

第三部 だいさんぶ 第三話 だいさんわ どしやどしやのできた話 はなし

昔、むかし 平安時代、へいあんじだい 源氏と平氏という武士がおったんじや。げんじ へいし ぶし

そして、その二つの、ふた 源氏と平氏が戦ったんじや。げんじ へいし たたか

その戦いたたかのことを源平の戦いげんぺい たたかというんじやと。

それが、このどしやどしやのできた話はなしとどいう関係かんけいがあるというとのう、

その戦いたたかで負けた平氏の落ち武者おむしやが、北きた 鴻がたにき来てのう、村の人達むらひとたちと、仲なかよううちとけ合うために

のう、何年なんねんもかかっつてつくつたのが「同信や同志や」という歌うたと踊りおどなんやつて。

同じ信心おなじしんしんを持ち、同じ志おなじこころざしを持ってつていう意味いみの歌うたと踊りおどなんじやと。今も踊られていての

う、みんなに親したしまれている。この踊りおどを、みんな知しっているかいの。

今は、どしやどしやつて呼よばれてるんやけど、本ほん当とうはこんな意味いみの”同信や同志や“なんやつて。

